



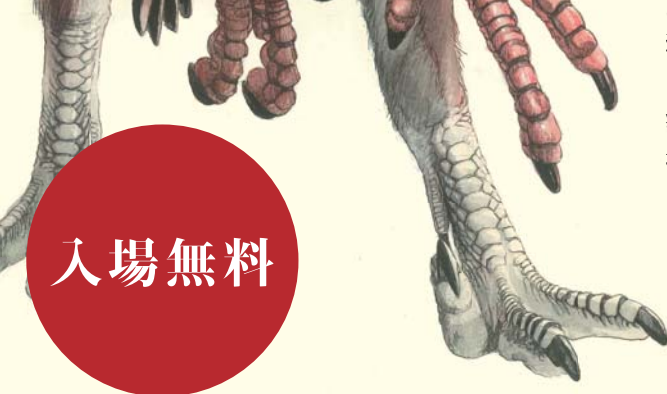
公開シンポジウム

2016.9.19 月・祝 12時30分-15時30分

共済ホール 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 共済ビル6階 (JR札幌駅より徒歩10分)

- 主催 日本鳥学会 ●協力 北海道大学総合博物館・BIRDER (文一総合出版) ●イラスト 川口 敏
- 講演者 小林 快次 (北海道大学・恐竜学者) / 川上 和人 (森林総合研究所・鳥類学者)
- 田中 康平 (カナダ・カルガリー大学・恐竜学者) / 江田 真毅 (北海道大学・鳥類学者)

恐竜学者の
鳥類学はなしと



入場無料

恐竜のほとんどは、約6,600万年前までに絶滅したと推定されています。一方で、現在私たちが目にする鳥たちは、恐竜の一部である“獣脚類”から進化したと考えられています。「絶滅した恐竜」を研究する恐竜学と、「生きた恐竜」である鳥を研究する鳥類学。それぞれの最新研究を理解しあうことは、互いの研究をより発展させることでしょう。本シンポジウムでは、恐竜学と鳥類学という異なる背景をもつ研究者が一同に会して講演し、議論します。きっと科学の奥深さ・幅広さ・面白さを体感していただけるはずです。皆様のお越しをお待ちしています。



●お問い合わせ

日本鳥学会2016年度大会事務局

<http://osj-2016.ornithology.jp/symposium.html>

E-mail osj-sapporo@rakuno.ac.jp

鳥類学者の
恐竜学はなし